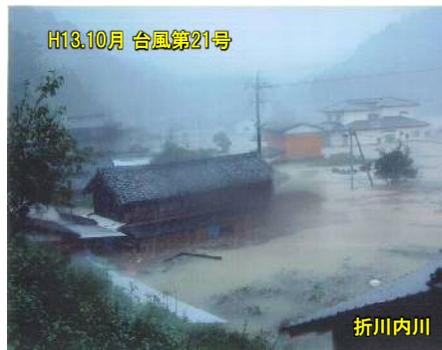


○これまで管内の流域では、平成13年の台風21号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」を策定・公表し、**流域治水を推進**していく。
○**沖田川水系など9水系**において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

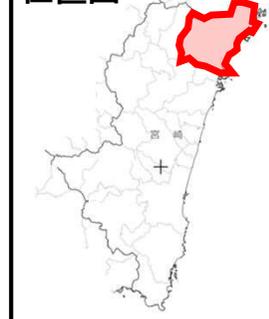
平成13年10月	台風第21号
平成16年10月	台風第23号
平成17年9月	台風第14号
平成19年7月	台風第4号
平成24年10月	台風第21号
平成26年6月	梅雨前線豪雨
平成28年9月	台風第16号



対象水系

- 1) 浦尻川水系
- 2) 沖田川水系
- 3) 浦上川水系
- 4) 古江川水系
- 5) 市振川水系
- 6) 中港川水系
- 7) 阿蘇川水系
- 8) 熊野江川水系
- 9) 須美江川水系

位置図



流域の関係者



- ▶ **延岡市** (危機管理課、土木課、都市計画課、建築指導課、下水道課、林務課、総合農政課)
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **宮崎県** (延岡土木事務所、東臼杵農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課)



流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 内水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 高潮、地震・津波対策
- 流水の貯留機能の拡大
- 流域の雨水貯留機能の向上

2. 被害対象を減少させるための対策

(今後、関係機関と連携し、対策検討)

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 土地の水災害リスク情報の提供・充実
- 避難体制等の強化
- 復旧・復興費用の支援

延岡地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、古江川水系など6水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



対象6水系

【対象水系】

- ①古江川水系
- ②市振川水系
- ③中港川水系
- ④阿蘇川水系
- ⑤熊野江川水系
- ⑥須美江川水系

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- ・ 河道掘削 等
- 【高潮、地震・津波対策】
- ・ 堤防高上げ・液状化対策・樋門の自動閉鎖化 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
- ・ 森林整備・治山対策
- ・ 水源林造成事業による森林整備、保全対策
- ・ ほ場整備
- ・ 多面的機能支払い制度を活用した支援

■ 被害対象を減少させるための対策

※今後、関係機関と連携し、対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地の水害リスク情報の提供・充実】

- ・ 水害リスク情報空白地帯の解消
- ・ 洪水浸水想定区域図のデータ提供
- ・ 水位情報等の提供
- ・ 危機管理型水位計・簡易型監視カメラの増設
- ・ 農業用ため池マップの周知

【避難体制等の強化】

- ・ 防災の日、防災週間における防災啓発
- ・ 防災士の養成及び出前講座の実施
- ・ 情報伝達体制の強化（防災アプリ・防災ラジオの導入）
- ・ わが家の防災ハンドブックを活用した防災講話や防災訓練
- ・ 地区防災計画の作成支援
- ・ 洪水、土砂災害ハザードマップの作成、周知
- ・ マイハザードマップの作成支援
- ・ 要配慮者への避難支援
- ・ 避難所等の確保及び環境改善

【復旧・復興費用の支援】

- ・ 流入物撤去の際の費用補助

■ グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf524】

延岡地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 古江川など6河川では県・延岡市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】・・・河道掘削を進めるほか、高潮・津波対策として樋門の自動閉鎖化を実施するとともに、水害リスク情報空白地帯の解消、危機管理型水位計・簡易型監視カメラの増設を行うほか、簡易なほ場整備を実施し **■ 河川対策（約 1億円）** 流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中長期】・・・高潮、地震・津波対策として、堤防嵩上げ・液状化対策、流域の雨水貯留機能の向上として、森林整備・治山対策などハード整備と併せ、農業用ため池マップの周知や洪水浸水想定区域図のデータ提供や情報伝達体制の強化などソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削 等			
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防嵩上げ・液状化対策・樋門の自動閉鎖化 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県			森林整備・治山対策	
		森林整備センター			水源林造成事業による森林整備、保全対策	
		宮崎県		ほ場整備		
		宮崎県、地元活動組織			多面的機能支払い制度を活用した支援	
被害対象を減少させるための対策	※今後、関係機関と連携し、対策検討					
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水害リスク情報の提供・充実	宮崎県	水害リスク情報空白地帯の解消			
			洪水浸水想定区域図のデータ提供			
			水位情報等の提供			
			危機管理型水位計・簡易型監視カメラの増設			
			農業用ため池マップの周知			
	避難体制等の強化	宮崎県	防災の日、防災週間における防災啓発			
			防災士の養成及び出前講座の実施			
			情報伝達体制の強化（防災アプリ・防災ラジオの導入）			
			わが家の防災ハンドブックを活用した防災講話や防災訓練			
		延岡市	地区防災計画の作成支援			
			洪水、土砂災害ハザードマップの作成、周知			
			マイハザードマップの作成支援			
			要配慮者への避難支援			
	復旧・復興費用の支援	延岡市	避難所等の確保及び環境改善			
グリーンインフラの取組	宮崎県	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出（瀬、淵、河畔、ワンド等の保全）				
		河川景観の保全・創出				
	宮崎県、延岡市、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全				
	宮崎県	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出				
魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持				
自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、延岡市	水辺空間のレジャー等の利用				
		小中学生や任意団体等による環境学習				

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。